

# 平成26年度 決算

## 収支

平成26年度一般会計決算では、実質収支額は1億7634万4千円の黒字。

## 町税の収入状況

収入未済額4521万1千円、不納欠損額は430万3千円。

現年分徴収率99・0%、滞納繰越分徴収率30・7%

## 町債(借金)・基金(貯金)

借金残高は約52億1885万円で、町民一人当たり約35万9千円。

基金(貯金)は、1300万円を積立て、総額35億8944万円。

## 平成26年度一般会計主な事業

防災システム整備事業

2億953万円

戸別所得補償経営安定推進事業

2450万円

活力ある高収益型園芸産地育成事業

6597万円

八丁牟田駅前広場整備事業

7791万円

合併処理浄化槽設置事業費

5539万円

## 平成26年度特別会計・水道事業会計決算状況

### 全員賛成で認定

国民健康保険……………(歳入)	18億5970万円	(歳出)	18億 682万円
後期高齢者医療……………(歳入)	1億5136万円	(歳出)	1億4543万円
水道事業費……………(収益的収入)	2億2723万円	(収益的支出)	2億 784万円
(資本的収入)	470万円	(資本的支出)	3376万円

## 平成26年度 大木町 一般会計・特別会計監査意見書

7日間に及ぶ審査の結果、各会計決算、基金及び付属書は関係法令に準拠し、内容も適正であると認める。地方自治体の財政状況の厳しい中、限られた財源で事業の効率化及び経費の節減を図られ、財政健全化に努められたことは評価できるが、今後も厳しい財政運営が想定され、健全で持続可能な財政基盤の強化に向け一層の努力を望む。

少子高齢化の進展や厳しい社会経済情勢の中、豊かで暮らしやすい大木町の実現のため、将来世代への過大な負担を残すことがないよう、引き続き費用対効果の観点から更に検討と改善を加え、より一層の健全な財政運営と重要な施策・課題に積極的に取り組み、各課の連携を図りながら適切に対処され、更なる住民福祉の増進に努められるよう切望する。

代表監査委員 川村 和正  
監査委員 中島 和正